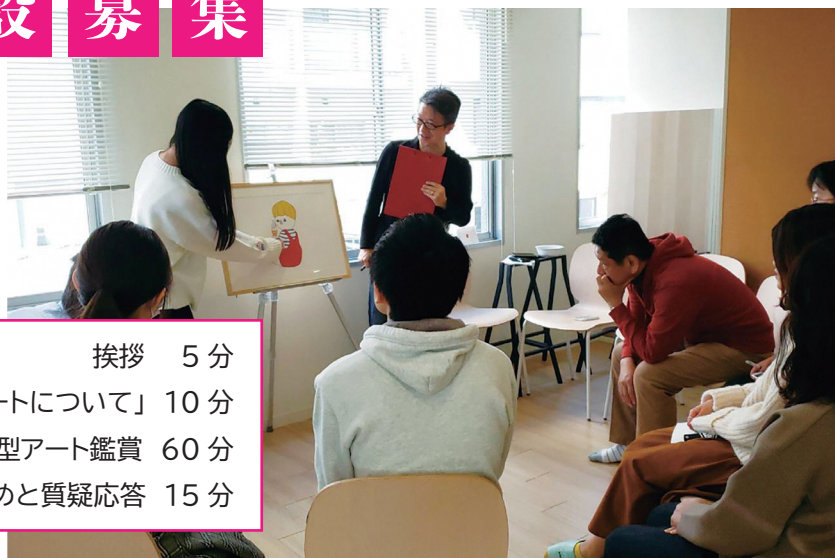


# ～脳が脱皮する美術館～対話型アート鑑賞

## 体験福祉施設募集

### プログラムイメージ

挨拶	5分
講師のお話「障がいのある方のアートについて」	10分
対話型アート鑑賞	60分
まとめと質疑応答	15分



これまでの知識を与えるだけの美術教育とは一線を画した自発的で能動的な鑑賞法「対話型アート鑑賞」の体験をする福祉施設等を募集します。作品を見て気づいたこと、想像したことを自由に語り合うことにより、「創造的思考力」「観察力」「チームビルディング」などが得られます。本プログラムでは、障がいのある方のアート作品を使用し、障がいのある方の創作活動や作品への理解向上にもつながります。

\*対話型アート鑑賞（対話型鑑賞）とは

MoMA（ニューヨーク近代美術館）が開発した美術鑑賞法の VTC（ Visual Thiking Curriculum ）をフィリップ・ヤノウィン氏が VTS（ Visual Thiking Strategy ）として発展させ、世界中に普及。フクフクプラスが VTS を独自に進化させた人財育成プログラムです。上場企業や国立大学など約 60 社が採用、延べ 5,000 人が体験しています。

### 募集条件

日時：2024年7月25日（木）or26日（金）

会場：貴団体にお伺いします。

\*会議室等の準備をお願いします。

募集施設数：3施設（障がい者施設であること）

参加料：無料

1団体当たりの定員：10名

参加対象者：利用者・施設職員・保護者

### お申込方法

団体（施設）名・担当者名・住所・電話番号・希望日時を「あいサポート・アートセンター」までメール・電話・FAXでお申し込み下さい。

\*お申込み多数の場合、ご希望に添えない場合があります。または日時の調整をお願いする場合があります。

講師：福島治（ふくしま・おさむ）氏

株式会社フクフクプラス 共同代表 グラフィックデザイナー、ソーシャルデザイナー

略歴：1958年広島生まれ。日本デザイナー学院広島校卒。浅葉克己デザイン室、ADKを経て、1999年福島デザイン設立。被災地支援プロジェクト「unicef 祈りのツリー」「JAGDA やさしいハンカチ」「おいしい東北/パッケージデザイン展」など、デザインにおける社会貢献の可能性を探求、実践する。障がい者アートを中心とした市民芸術祭、アートパラ深川おしゃべりな芸術祭を2020年に発起人、総合プロデューサーとして立ち上げる。

世界ポスタートリエンナーレトヤマ・グランプリ、メキシコ国際ポスタービエンナーレ第1位、カンヌ広告フィスティバル・金賞など国内外の30以上の賞を受賞。『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰を受賞。AGI、JAGDA、TDC 会員。東京工芸大学名誉教授、日本デザイナー学院顧問、公益財団法人みらい RITA 理事、一般財団法人森から海へ理事。

<https://fukufukuplus.jp/>



主催



住所 | 倉吉市福庭町1丁目105-2  
開所日 | 平日8時30分～17時30分 ※土日祝・年末年始休み  
TEL/FAX | 0858-33-5151  
メール | [tottori.asac@gmail.com](mailto:tottori.asac@gmail.com)  
HP | <https://aisapo.art/> — QRコードを読み込むとHPへ移動 —

